

平成31年 2月 7日

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第8次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	せとうみ 臨床美術の会		
団体名称	せとうみ 臨床美術の会		
代表者職名	代表	ふりがな	おかざきとしこ
		代表者氏名	岡崎 壽子
ふりがな	おかざき としこ		
団体住所	岡山市 北区		
電話番号		FAX	
設立年もしくは活動年数	設立年月日 2018年9月13日		
スタッフ数	有給スタッフ 5名・無報酬スタッフ 8名・ボランティア等 3名 (2019年11月～令和2年7月)		
団体HP(あれば)	団体HPは4月末～5月にかけて開設予定		
FBページ(あれば)			
CANPAN登録	なし・あり(星 つ)【団体ID:]		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	代表	ふりがな	おかざき としこ
		担当者氏名	岡崎 壽子
郵送物送付先住所	岡山市 北区		
担当者電話番号(極力携帯番号)		担当者 e-Mail	

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

(事務局記入欄)

事務局記入欄 受付日・受付者		事務局記入欄 CANPAN 登録	有・なし(予定 月 日頃)
-------------------	--	---------------------	---------------

申請事業の内容

事業種類・内容 該当する活動に○をつけてください。	① 災害支援・復興活動(真備エリア) 2. 災害支援・復興活動(県内各地)
事業名 (もしくは事業概要)	忘れないよ 真備町 みんなで想いをアートにふりつけてみようよ！
活動(予定) 期間	平成 31年 4月 1日 ~ 平成 32年 3月 31日
活動(予定) 場所	真備児童館 市立真備陵南高校 他
受益者数	直接受益者 (名) 間接受益者 (名) ※いる場合
事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況)	
・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入) ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか	
<p>背景... 災害で失った物と傷ついた心。自宅が壊されて住み慣れた町がバラバラになっている。それぞれの家族が他地域に移り慣れない環境から生活の不便と不安を持ち続けている。集まる場所が失われたことで、楽しいことに参加する機会が少なくなった。</p> <p>目指す状況 失った物は取り戻せなくても、創作活動で新たな作品が生まれ、初めは他者と愉しむことができる。真備町と離れている人々と、ここで頑張っている人々が共に特産品をモチーフにアート作品作りで参加することで近況を伝え合える。再会より定期的創作活動を実施。公共のコミュニティ施設の機能をもう少し回復しているのでもっと集い、絵を描いたり、オブジェを作ったりすることから心に励みとゆとりを持ってもらいたい。幼児と母親、学生、大人それぞれが参加者になれる。</p> <p>長期的に実施することで作品展を開催し、町内外の人々に真備町に集ってもらう。</p>	
事業の実施内容	
・どのようなことをいつ(回数等)やるのか	
<p>真備に住む(住んでいた)子育て支援対象の方々から参加。</p> <p>「真備に集うみんながアーティスト」というワークショップを行う。</p> <p>その後、対象者を広げていく(どなたでも)。</p> <p>4月から参加者を募集し、5月～3月まで毎月2回程度の頻度で開催。</p> <p>会場は公共コミュニティ施設等。臨床美術エが寄り添いながらオブジェ作り、絵を描く。</p> <p>2019年度メインテーマ「子育て支援に寄り添う」</p> <p>長期的には「真備に集うみんながアーティスト」なので、地域の方、以外の方問わず、関心のある方々にも参加して頂けるように勧める。真備町と忘れないように呼びかける。</p> <p>作品発表の場を市立真備陵南高校文化祭とコラボさせて頂くことと、3月又は4月に「筧、たけの達のアート展」を実現して次年度に繋いでいく。</p>	

事業の実施体制

・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

- せとうみ臨床美術士の会のメンバーとボランティア
- 特定非営利活動法人 日本臨床美術協会
- 芸術造形研究所
- 臨床美術学会

事業実施後の展望

- ・助成期間後も活動を継続する場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

2019年度終了後も2020年～継続する。

この活動は一過性のものではない旨、公報活動も継続していく。

内容はその年度にテーマを設定する。

春は「筍、たけのこ達のアート展」を毎年実施。

11月は文化祭コラボ。

その他

・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

「真備に集うみんながアーティスト」として県外からも参加者が来町し、皆さんと共にアートシーンを創造する。